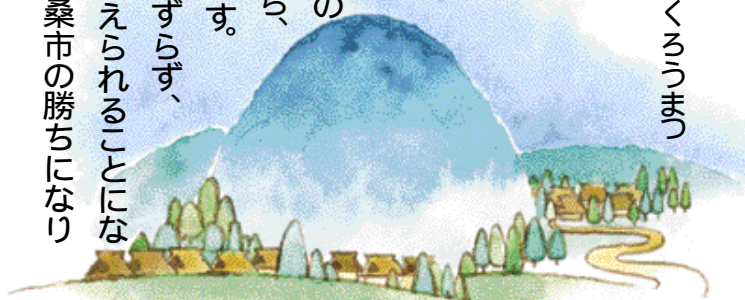


助九郎と松

すけくろつまつ

昔々、釣阪山をはさんで
隣同士の桑市村と立脇村の
人々は平和に暮らしていました。

ところが、この釣阪山にはどちらの
村も草や木を刈りに行くことから、
その境をめぐる争いが起きたのです。
どちらも自分が正しいと言ってゆずらず、
とうとう、この争いは奉行所に訴えられることにな
りました。そして、裁判が行われ桑市の勝ちになり
ました。



立脇の人々は残念でなりません。負けたのは桑市の
庄屋の助九郎がうまく役人を信じ込ませたからだ
と言い合いました。
そんなある夜、助九郎が何者かに殺されてしまいま
した。面倒をよく見てくれた助九郎を失った桑市の
人々は嘆き悲しみ、墓のそばに松を植えました。裁
判を恨んだ立脇の者がやたらに違いないと思いいこ
の松が生き続ける限り、桑市のもんは立脇のもんと
は縁組みをすることはできん」と誓い合いました。

朝来町のお話で、立脇と桑市とは、但馬街道に沿って隣り合わせになっ
ている二つの村である。国道312号線を生野峠から北へ5キロほど下ると
船宮古墳があるが、その近くの村にまつわる昔話。
縁組みとは結婚したり、子どもをもらったりすること

それから百年余りたつたころ。立脇の村のきたという
娘と、桑市の甚六というまじめな若者が出会い、結婚
を約束しました。そのことを知った一人の両親は驚き
あわてました。あの誓いが村に生きていたからです。両
親はつそをついて二人を無理矢理引き離してしまっ
たのです。悲しみにくれた娘は死んでしまい、ある嵐の夜、
甚六も村を出たまま帰ってきませんでした。

嵐の夜が明けると助九郎松が
風に倒されていました。
ふたつの村の人々は、
「庄屋さんが
『そんな悲しい誓いを
いつまでも守っているな』と
あの松を倒された
んだ」と言い合い、
それから
仲の良い村に
戻ったそうです。



未知普請

みちふしん

道普請の精神である、人と人、心と心をつなぐという原点に立ち戻り、地域の人々と対話を重ねながら、人々の幸せ、豊かな暮らしの創造に向けて考えていこうというのが「未知普請」の精神です。

参加と責任

私たちは、こうした考えのもと、「対話と協働」「参加と責任」「未知への挑戦」の3本柱で、地域の方々と対話を図りながら「未知普請」活動を進めていきます。

対話と協働

未知への挑戦

安全・快適な雪道走行を確保するために...

兵庫県内の一般国道9号では、12月から3月までの期間において雪害対策実施として、円滑な道路交通を確保するため、迅速かつ適切な除雪活動を行います。



「土ホ」イメージキャラクター ドボツ君

携帯電話やインターネットで見られる雪道情報アドレスはこちら

インターネット... <http://road.kkr.mlit.go.jp/road/>

i-mode <http://road.kkr.mlit.go.jp/i/>

EZ-web ... <http://road.kkr.mlit.go.jp/ez/>

Vodafone Live!... <http://road.kkr.mlit.go.jp/j/>

インターネット版 <http://www/kkr.mlit.go.jp/toyooka/>

iモード版 <http://i.river.go.jp/cgi-ippan/title.sh/>

iモード以外では一部表示しないところがあります。

国土交通省 豊岡河川国道事務所 TEL 0796-22-3126(代表)

国土交通省ではインターネット・iモードで円山川の情報(雨量・水位など)を提供しています。是非、ご利用ください。



戦車に乗る今井さん



今井さん初監督作品
「SUPPIN ぶるうすザ・ムービー」
VHS・DVD 絶賛発売中!!

今

井

自衛隊

vol.7

熱血 談義

雅

之

高校卒業後、約2年間、自衛隊にいた。自分の夢を叶えるために、親との約束を果たす2年間であったが、思い返すと、「濃縮ジュース」のような毎日だった。

僕は戦車隊に配属され、4人の班に1台の戦車が宛^{あて}られた。操縦担当だったこともあって、戦車には並々ならぬ愛車精神が育まれていたらしく、やめるときに「もう二度と戦車にはさわれないんだ」と思うと胸に迫るものがあった。

自衛隊に入って一番に感じたのは、「世の中をなめてたな」ということ。常に命をかけて行動するため、毎日の緊張感是一般では想像できない特殊な環境だった。

特に「ココに行け!」「アレしろ!」だけで、途中の説明などが一切省かれて命令が飛ぶ。「ココとはどこ?」「アレとは何?」といつもいつも考えながら行動していた。できなかつたり、間違っていると容赦なく殴られた。

そのクセがすっかり自分にも身についてしまい、説明を省いてしゃべってしまつたり、行動してしまつので誤解を招くことが多い。それでも、優しく教えると、その人がダメになつてしまふような気がして、「自分で気づこう!」と心の中で常にエールを贈っている。

自衛隊をやめたとき、本当の自由を感じた。権利を主張するだけのワガママは自由じゃない。それと、時間の大切さを学んだ。イイ体験だったと思つ



【PROFILE】

1961年4月21日、兵庫県城崎郡日高町に生まれる。
1986年 奈良橋陽子演出「MONKEY」で舞台デビュー
1987年 ドラマ人間模様「婚約」(NHK)でテレビデビュー
1991年 文化庁主催芸術祭において「WINDS OF GOD」で史上初の原作・脚本・演技の三役で受賞
1993年 「WINDS OF GOD」で国際連作家協会芸術賞受賞
1995年 「静かな生活」で日本アカデミー賞優秀助演男優賞受賞、キネマ旬報日本映画新人男優賞受賞
1999年 「WINDS OF GOD」ブロードウェイでロングラン公演
2001年 「カッコーの巣の上を」全国ツアー公演
2002年 「MAKOTO -ゆく年くる年 Hello,Xmas-」全国ツアー公演
2003年 「SUPPINぶるうすザ・ムービー」初監督作品、但馬での撮影完了
2004年 「SUPPINぶるうすザ・ムービー」初監督作品、ロードショー